

審査等勘定(審査セグメント)の財政見通しについて

- 第3期中期計画の審査等勘定(審査セグメント)の財政フレームは、第2期中期計画末に相当の積立金が発生したことから、まず、これを取り崩して活用(=毎年度経常損失が発生することが前提)し、第3期中期計画末に積立金が解消する(=0になる)ことを前提。(第4期中期計画当初には、手数料の引き上げを予定していた)
- しかしながら、
 - (1) 当初計画で見込まれた申請数(金額)よりも、実際の申請の伸び悩みが判明
 - (2) 昨年の年金機構の事案を踏まえた情報セキュリティ関係の緊急対応などにより、財政見通しが以下のとおり悪化。

【審査セグメントの財政見通し】

単位:億円

	26	27	28	29	30
経常収益	109	118	116	118	118
経常費用	115	128	141	147	152
当期純利益	▲6	▲10	▲25	▲30	▲34
積立金取り崩し	9	14	16	19	10
累積剰余金・欠損金	62	52	27	▲2	▲36



→ 今後、財務マネジメント等を強化し、収支状況の改善を図っていくとともに、運営評議会の開催の都度、直近の財政状況について、報告をさせていただく予定。